

あとがき

新医師臨床研修制度が発足して2回目の眼科志向者を迎える季節になりました。産科志向者は東北地方全体で8人と仄聞しました。産科医や小児科医の減少は社会問題になっていますが、眼科志向者も減少しています。しかも都会に集中しているため、地方の拠点病院での眼科閉鎖が続いています。有名になった医療崩壊という言葉が現実化しつつあり、同時に大学崩壊が忍び寄っています。生き残りをかけた病院の収入増対策が多々布告されますが、それこそ医療崩壊への道のようにもあります。

今月号から第60回日本臨床眼科学会の講演原著が掲載されます。今回も昨年同様、多数のご投稿をいただき感謝しています。

千代豪昭先生の「眼科医のための遺伝カウンセリング技術」も5回目を迎えました。認定遺伝カウンセラーというなじみの少ない職について歴史、理論、技術について連載していただいています。遺伝性疾患を扱う機会の多い眼科医にとって新鮮な知識がいっぱいです。本筋はもとより、遺伝と社会事象の関連を取り上げたコラムの囲み記事は、読み物としても大変興味深いもので毎回楽しみです。今回はカウンセラーの基本的態度とコミュニケーション・スキルについてですが、これは一般診療にも通じるもので毎日の診療を振り返って反省すべき点が多々ありました。

和田崇文先生の「眼科医のための救急救室」も3回目を迎えました。高血圧、糖尿病、脂血症という脳梗塞の3大危険因子を有する高齢者が多数、長く集まる眼科外来、病棟では何が起ころうとも不思議はありません。眼科医の最も苦手な分野ですが、自動体外式除細動器も使いこなさなければならない時代です。初期の判断と処置の仕方が簡潔に記載されています。

2つの連載は新しく迎える眼科専門医志向者はもとより、ベテランの先生方やコメディカルの方にもお役に立つ「臨床眼科」ならではの企画です。是非、お目通しください。

(根木 昭)

編集顧問 宇山昌延 清水弘一 玉井 信 塚原 勇 初田博司 馬嶋昭生 増田寛次郎
三宅養三

編集委員 大野重昭 水流忠彦 寺崎浩子 中澤 満 西田輝夫 根木 昭 (五十音順)

臨床眼科 (第61巻 第3号)

2007年3月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価 2,835 円 (本体 2,700 円+税 5%)

(2007 年年ぎめ予約購読料 41,660 円
増刊号を含む 13 冊、税込・送料弊社負担)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 5-24-3 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ 医学書院ホームページ (インターネット) は Web <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。「臨床眼科」のページにて最新号の目次、バックナンバーを直接閲覧頂けます。Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ringan/>
- ・ JICLS<(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム (03-3817-5670) の許諾を得てください。

担当 能藤・風間・中田